

# 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

## <研究課題名>

頻拍回路が瘢痕部心筋内に局限する心室頻拍の臨床的特徴を解明する探索的観察研究

## <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 永嶋 孝一

## <研究期間>

承認日 ~ 西暦 2024年12月31日

## <研究の目的と意義>

近年、カテーテルの技術の進歩により、器質的心疾患にともなう持続性心室頻拍の回路が詳細に解明されつつあります。従来、心室頻拍回路は、障害を受けた部位と健康な部位により構成されることが知られており、心室頻拍のアブレーションすべき部位は、エントレインメントペーシング(専門的ですので、覚えて頂かなくとも結構です)を用いて決定します。この診断法は現在広く普及しており、アブレーション部位の決定には欠かせない方法です。しかし我々は、本来、障害部位と健常部位により構成される心室頻拍回路が、障害部位にのみ局限している心室頻拍例を報告し、この症例ではエントレインメントペーシングによる振る舞いが、全く異なることを報告しました。こういった症例では、エントレインメントペーシングの結果の解釈や、アブレーション部位の決定が非常に難しくなります。今回我々は、このような診断やペーシングの結果の解釈に注意を要する症例を登録し、臨床的特徴や瘢痕組織の特徴を解明し、そういった患者さんのより良いアブレーション法の解明につなげようと思っています。

## <利用する試料・情報の項目>

心室頻拍に対してカテーテルアブレーションを受けた患者さんの、病歴やアブレーション中の心内心電図データを使用します。

## <対象となる患者さん>

2015年1月1日～2024年6月30日に当院循環器内科で心室頻拍に対するカテーテルアブレーション治療をされた方

## <研究の方法>

上記患者さんのカテーテルアブレーション中に、心臓電気生理学的検査およびアブレーション中の心内心電図データを使用します。またペーシングによって診断したデータも使用し、診断の確立を目指します。ペーシング手技はいずれも診断に必要であり、どの患者さんにも行っている、安全性が確立された方法です。また得られたデータを後から解析しますので、安全性には問題ありません。この検討により、不整脈回路をより迅速に、正確に診断することが可能となり、治療で難渋することを回避することが目的です。

<研究組織>

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 永嶋孝一  
大阪労災病院 循環器内科 松永泰治  
北里大学医学部 循環器内科 深谷英平 岸原淳  
国立国際医療研究センター 循環器内科 谷本耕司郎  
熊本大学病院 循環器内科 辻田賢一 金澤尚徳  
神戸大学医学部 循環器内科 高見充  
小倉記念病院 循環器内科 福永真人 永島道雄  
順天堂大学医学部 循環器内科 林英守  
昭和大学医学部 循環器内科 河村光晴 宗次裕美  
東海大学医学部 柳下敦彦  
東京医科歯科大学 循環器内科 林達哉  
東京慈恵会医科大学 循環器内科 徳田道史  
東京女子医科大学 循環器内科 庄田守男 樋口諭  
東京都立広尾病院 循環器内科 深水誠二 北條林太郎 北村健  
東邦大学大橋病院 循環器内科 中村啓二郎  
獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科 中原志朗  
浜松医科大学 循環器内科 成瀬代士久  
福井大学医学部 循環器内科 宮崎晋介 冨田浩

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)  
循環器内科 氏名:永嶋 孝一  
電話:03-3972-8111 内線:(医局)2413 (PHS)8142